

「自己点検・評価書」・「基礎資料」 正誤表

大学名：昭和大学薬学部

■自己点検・評価書

	頁	行	誤	正
1	15	8の下	「チーム医療教育」に関する図（図番号記載漏れ）	当該図下に「図 3-1-1-1 昭和大学のチーム医療教育（概略）」を挿入
2	18	36	教養教育科目は1年次の富士吉田教育部において <u>37科目</u> が開講されており、 <u>3科目</u> が必修で、残り <u>34科目</u> は選択必修科目である（表3-1-1-5）。	教養科目は1年次の富士吉田教育部において、 <u>2021（令和3）年度</u> 、 <u>35科目</u> が開講されており、 <u>そのうち、1科目</u> が必修（ <u>1単位</u> ）で、残り <u>34科目</u> は選択必修科目（ <u>6科目選択必修；6単位</u> ）である（表3-1-1-5）。
3	19	1	表 3-1-1-5 教養教育科目一覧	表 3-1-1-5 教養科目一覧
4	19	2	学生が履修すべき（卒業要件となる） <u>教養教育科目</u> の単位数 <u>6単位</u>	学生が履修すべき（卒業要件となる） <u>教養科目</u> の単位数 <u>7単位</u>
5	19	表 3-1-1-5	（科目名の項） <u>健康と運動の科学</u>	<u>（行全体を削除）</u>
6	19	表 3-1-1-5	（科目名の項） <u>健康とスポーツの科学</u>	<u>（行全体を削除）</u>
7	20	5	<u>2023（令和5）年度</u>	<u>2022（令和4）年度</u>
8	27	5	<u>修学支援担当教員</u>	<u>修学支援担当教育職員</u>
9	30	20	<u>修学支援担当教員</u>	<u>修学支援担当教育職員</u>
10	31	26	<u>修学支援担当教員</u>	<u>修学支援担当教育職員</u>
11	34	17	<u>学内教員</u>	<u>学内教育職員</u>
12	36	27	<u>富士吉田教育部専任教員</u>	<u>富士吉田教育部専任教育職員</u>
13	42	10	<u>薬学部教員選考基準</u>	<u>薬学部教育職員選考基準</u>
14	42	表 5-1-3	表 5-1-3 <u>薬学部教員選考基準</u>	表 5-1-3 <u>薬学部教育職員選考基準</u>
15	42	表 5-1-3	（教授に関する選考基準の項） <u>能力及び実績の指導能力があると</u>	<u>能力及び実績があると</u>
16	42	12	<u>教員任期制</u>	<u>教育職員任期制</u>
17	47	29	次世代を担う <u>教員</u> の養成	次世代を担う <u>教育職員</u> の養成
18	47	31	必要な <u>教員</u> 組織	必要な <u>教育職員</u> 組織
19	51	3	学年担当教育 <u>教員</u>	学年担当教育 <u>委員</u>
20	54	30	計 <u>5</u> 部屋	計 <u>4</u> 部屋
21	55	8	<u>教員</u>	<u>教育職員</u>

22	61	表 8-1-1	オルバニー大学	オルバニー薬科大学
23	61	表 8-1-1	台北医学大学	台北医科大学
24	61	23	2週間以上の海外留学・研修に対して <u>10万円以内の範囲で渡航費・滞在費の補助制度がある（資料160）。</u>	2週間以上の海外留学・研修に対して原則10万円の奨学金を給付している（資料160第6条）。奨学金に加えて、正課の海外実習・研修に参加する学生で、 <u>実習費・研修費・事務手数料等、実習・研修に直接的に要する費用の支払いが生じる場合には、10万円を上限として大学が負担する補助制度もある（資料160第7条）。</u>